

平成 13 年 8 月 30 日

第 3 回世界水フォーラムについて

I. 第 3 回世界水フォーラムに係るこれまでの動き

1. 第 3 回世界水フォーラムの概要

(1) 世界水フォーラムについて

- 地球規模で 21 世紀の持続的な水利用を議論することを目的に、「世界水会議 (World Water Council)」が主宰する国際フォーラム。
 - ※ 世界水会議は、水政策に関する国際的なシンクタンクとして 1996 年に設立された NGO。
- 第 1 回は 1997 年にマラケシュ (モロッコ) で、第 2 回は 2000 年にハーグ (オランダ) で開催。
- 第 2 回世界水フォーラムでは、世界各国から 5,500 人を越える参加者があり、「世界水ビジョン」等を採択。また、あわせて開催された閣僚級会合には 130 カ国、100 名を越える閣僚等が参加し、「ハーグ閣僚宣言」を採択。
- 第 3 回については、2003 年 3 月に我が国で開催されることが WWC 理事会において決定。

(2) 第 3 回世界水フォーラムの概要

- [開催月日] 平成 15 年 3 月 16 日 (日) ～ 23 日 (日)
- [開催場所] 京都市を中心として滋賀県、京都府及び大阪府
(閣僚級国際会議は、国立京都国際会館)
- [主催] フォーラム：世界水会議 (WWC) 及び第 3 回世界水フォーラム運営委員会
閣僚級国際会議：日本国政府

(3) 農林水産省としての関心事項

- これまでの世界水フォーラムでは、農業用水が議論の中心的な課題のひとつになっており、さらに、第 3 回フォーラムでは「食料と環境と水」等、農業政策まで踏み込んだ議論がなされる見込みであり、当省としても積極的に取り組む必要があると認識。

2. これまでの経緯と対応

(1) 第3回世界水フォーラムの日本開催決定

第2回世界水フォーラム（平成12年3月）後のWWC理事会において第3回フォーラムの日本開催について決定。

(2) 第3回世界水フォーラム関係省庁準備会議(課長級)の設置

平成12年6月、関係省庁の課長級による関係省庁準備会議を設置し、予備的検討を開始。

※ 準備会議事務局は、国土庁長官官房・水資源部に置かれ、当省からは、構造改善局水利課長と林野庁治山課長が委員。

(3) 第3回世界水フォーラム準備事務局発足

平成12年7月、関係団体、学会、専門家、NGO等の参加により、フォーラム準備事務局が発足し、企画案・運営体制等について本格的検討を開始。

※ フォーラム事務局は平成13年4月にNPO（特定非営利活動法人）として認証、設立登記済み。

(4) 省内準備委員会の設置(農林水産省)

平成12年11月17日、フォーラムにおける農業関連分野での議論に備え、農林水産省内に構造改善局長を委員長とする「第3回世界水フォーラム省内準備委員会」を設置。

(5) 第3回世界水フォーラム関係省庁会議の設置

平成12年11月20日、フォーラム関係省庁の局長クラスによる会議を設置。

※ 関係省庁会議の事務局は、現在、国土交通省・土地水資源局水資源部に置かれ、農林水産省からは農村振興局長と林野庁・森林整備部長が委員。

(6) 第3回世界水フォーラム運営委員会発足

平成13年1月、各界有識者等からなる第3回世界水フォーラム運営委員会が発足し、第1回運営委員会を開催。

(会長：橋本龍太郎・元総理大臣)

(7) 閣議了解

平成13年3月6日、第3回世界水フォーラムの開催に対し、関係行政機関は必要な協力を行うこと、及びフォーラムの一環として閣僚級国際会議を開催すること等を閣議了解。

(8)皇太子殿下の第3回世界水フォーラム名誉総裁ご就任

平成13年5月17日、皇太子殿下がフォーラム名誉総裁にご就任。

(9)「水について考える近畿地域会議」の設立

平成13年5月23日、フォーラム開催地の関係機関（国、公団、関係府県、関係市、関係団体）による地域会議が設置され、フォーラムの成功に向けて連絡調整活動等を開始。

※ 農林水産省からは、近畿農政局・農村計画部長、同・整備部長及び近畿中国森林管理局・計画部長が委員。

(10)第3回世界水フォーラム・キックオフミーティングの開催

平成13年6月3日～5日、第3回世界水フォーラムに向けた最初の準備会合となるキックオフ・ミーティングを京都市において開催。併せて、インターネットを活用した仮想会議（バーチャル・フォーラム）による意見募集を開始。

(11)シンポジウム「水の世紀を考える」の開催

平成13年6月5日、京都でのキックオフミーティングを受け、東京においても「水の世紀を考える～第3回世界水フォーラムへ向けて～」をテーマにWWCアブザイド会長と各界代表が公開パネルディスカッション方式で意見交換を実施。

※ 農業関係の専門家として中村良太・日本大学教授がパネラーとして参加。

※ 7月27日、NHK教育テレビで放映。

Ⅱ. 第3回世界水フォーラム等への対応方針について

1. 基本方針

世界の人口急増に伴う水不足や食料需給の逼迫、工業化の進展等による水質汚濁や都市化の進展等土地利用の変化に伴う洪水被害の増大など、水問題の解決に向けて世界各国が協調して取り組んでいくことが喫緊の課題となっている。

このような中で、第3回世界水フォーラムが2003年3月に我が国において開催されるにあたり、当省としては、

- ① 農業が第2回世界水フォーラムにおける主要な話題の一つであったこと、及び
- ② 農業用水に係るこれまでの議論が、欧米等の乾燥地及び半乾燥地の農業を中心としたものであり、アジアモンスーン地域を代表とする水田農業については十分な議論がなされていないこと

等を踏まえ、「安定的な食料供給と水」及び「持続的な農業農村開発と水」等を農業分野の主要テーマとして位置づけ、フォーラム及び閣僚級国際会議でのこれらテーマに係る議論に積極的に対応し、フォーラム開催国としての役割を果たしていくこととする。

なお、森林・林業分野については、林野庁において対応が検討されているところであり、連携を図りつつ取り組むこととする。

2. 個別会議等への対応方針

(1) 閣僚級国際会議への対応

[対応方針]

これまでのフォーラムの議論で農業用水が中心的なテーマの一つとして取り上げられていることから、当省からも閣僚級の出席を含め、積極的な対応について具体案を検討する。また、会議の中では我が国における農業用水の役割や関係諸制度について紹介するなど、農業用水の効率的な利用のあり方等の議論に貢献していく。

(参 考)

- 閣僚級国際会議の具体的なテーマや会議の進め方等については、現在、関係省庁間で調整中である。
- 第2回世界水フォーラムの際に農業関係大臣（農業大臣、かんがい大臣等）が閣僚級会議に参加した国は開発途上国を中心に約20カ国。

(2)フォーラムへの対応

[対応方針]

当省としては、今回のフォーラムにおける農業分野のテーマとして「安定的な食料供給と水」及び「持続的な農業農村開発と水」を提案しており、関係団体の積極的な参加が行われるよう必要な働きかけ等を行う。

(参 考)

- フォーラムは、水の専門家やNGOなど市民レベルの参加を得て、水問題にそれぞれの立場からどう関わっていくかを議論する場。今回のフォーラムで取り上げるべきテーマについては、キックオフミーティングやバーチャル・フォーラムでの議論を踏まえて決定される予定。

- 第2回世界水フォーラムの際には、地域別及び分野別で計87の分科会を設定。

※「バーチャルフォーラム」とは、インターネット上で仮想の会議室をテーマ毎に設け、予め事務局に登録された議長と会議参加者により議論を行うもの。

- 国民の関心を高め、議論を深めるため、地元関係自治体及び関係団体等の協力を得て、各種のイベントを実施していくことが効果的と考えられる。その一環として、平成14年3月、農林水産省、滋賀県及び関係協力団体により「モンsoonアジア水田灌漑の多面的な役割（仮称）」をテーマとする国際シンポジウムを開催する予定であり、その成果については、広く世界に情報発信し、第3回世界水フォーラムにおける議論に反映させることを目指す。

参 考 資 料 一 覧

- (参考1) WWC (World Water Council ; 世界水会議) について
- (参考2) 世界水フォーラム関係省庁会議規約
- (参考3) 第3回世界水フォーラム運営委員会 構成
- (参考4) 第3回世界水フォーラムの開催について (閣議了解)
- (参考5) 第3回世界水フォーラム・キックオフミーティングの概要
- (参考6) 第3回世界水フォーラム省内準備委員会の設置について
- (参考7) 第3回世界水フォーラムの日程 (案)

WWC (world water council ; 世界水会議) について

(設置の経緯等)

水政策に関する国際的なシンクタンクを目指して1996年に設立された。NGOではありながら、WB(世界銀行)、UNDP(国連開発計画)などの国連機関、あるいはICID(国際かんがい排水委員会)、IAHS(国際水文学会)など国際的学協会も関連している。

(会員)

世界の団体、個人 約300

(執行部)

会 長 : Mahmoud Abu-Zeid

(エジプトかんがい・水資源大臣、前 ICID 技術活動委員会
委員長)

副会長 : Rene Coulomb

(フランス、スエズ・リヨン水公社)

William J Cosgrove

(カナダ、元 WB 副総裁)

プログラム委員長 : Aly M Shady

(カナダ、CIDA 政策顧問、前 ICID 会長)

特別ゲスト・オブザーバー : 尾田栄章

(元河川局長、(日本国内) WWF 3 準備事務局長)

理 事 : 38人

(うち3名は創立者、9名は WB、UNDP、ICID 等関係機関の代表、1名は本部所在地のフランスから就任。20名は会員による選挙で選出。5名は以上の理事による選任。)

世界水フォーラム関係省庁会議規約

(名 称)

第1条 この会議は世界水フォーラム関係省庁会議と称する。(以下「本会議」という。)

(目 的)

第2条 本会議は、「第3回世界水フォーラム」(以下「フォーラム」という。)に関する事項について検討するとともに閣僚級国際会議の開催について推進することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会議は、前条の目的を達成するため、次の事項に関する事業を行う。

- (1) フォーラムに関する事項
- (2) 閣僚級国際会議開催に関する事項
- (3) その他第2条の目的を達成するために必要な事項

(構成員)

第4条 本会議の構成員は関係省庁の局長・部長とする。

(構成員の代理人)

第5条 本会議の構成員は、構成員の責任において本会議に代理人を出席させることができる。

2 前項の代理人は、構成員と同じ資格を有する。

(議 長)

第6条 本会議の議長は、国土庁長官官房水資源部部長をもって充てる。

(幹事会)

第7条 本会議は、事業を実施するにあたり、各般の調整等を図るため、幹事会を設置することができる。

2 幹事会は、関係省庁の課長等で構成する。

(事務局)

第8条 本会議の事務局は、国土庁長官官房水資源部に置く。

(規約の変更)

第9条 この規約の変更は、本会議において、構成員の2分の1をこえる同意をもって変更することができる。

(規約の実施)

第10条 この規約に定めるもののほか、本会議の事業に関し必要な事項については、本会議の議決を経て議長が別に定める。

(解散)

第11条 本会議は、第3条に定める事業及びこれに付随する事務が終了した日の翌日をもって解散するものとする。

附 則

この規約は、平成12年11月20日から施行する。

平成13年8月1日現在

世界水フォーラム関係省庁会議名簿

内閣官房内閣審議官	春田 謙
外務省総合外交政策局国際社会協力部長	高須 幸雄
文部科学省国際統括官	白川 哲久
厚生労働省健康局長	篠崎 英夫
農林水産省農村振興局長	木下 寛之
林野庁森林整備部長	石島 操
経済産業省地域経済産業審議官	今井 康夫
国土交通省土地・水資源局水資源部長	渡辺 和足
国土交通省都市・地域整備局長	澤井 英一
国土交通省河川局長	竹村 公太郎
環境省環境管理局水環境部長	石原 一郎

平成13年8月1日現在

世界水フォーラム関係省庁会議幹事会名簿

内閣官房内閣参事官	河村 正人
外務省総合外交政策局国際社会協力部地球環境課長	宇喜多 秀俊
外務省経済協力局技術協力課長	渡辺 正人
文部科学省大臣官房国際課企画調整室長	今里 讓
厚生労働省健康局水道課長	三本木 徹
農林水産省農村振興局整備部水利整備課長	田口 高士
林野庁森林整備部治山課長	田所 雅之
経済産業省経済産業政策局産業施設課長	細川 政弘
国土交通省土地・水資源局水資源部水資源計画課長	小林 正典
国土交通省都市・地域整備局下水道部流域管理官	宇塚 公一
国土交通省河川局河川計画課長	甲村 謙友
環境省環境管理局水環境部水環境管理課長	仁井 正夫

第3回世界水フォーラム運営委員会 構成

会長

橋本 龍太郎 元内閣総理大臣

各界有識者委員

秋山 喜久 関西経済連合会会長
荒巻 禎一 京都府知事
今村 奈良臣 食料・農業・農村政策審議会会長、東京大学名誉教授
梅棹 忠夫 国立民族学博物館顧問
江崎 玲於奈 芝浦工業大学学長、ノーベル物理学賞受賞者
大内 照之 世界自然保護基金ジャパン(WWF-J)会長
川那部 浩哉 滋賀県立琵琶湖博物館館長
紺野 美沙子 国連開発計画(UNDP)親善大使、女優
曾野 綾子 日本財団会長、作家
高島 肇久 国連広報センター所長、前NHK放送総局特別主幹
高橋 裕 世界水会議(WWC)理事、東京大学名誉教授
丹保 憲仁 北海道大学総長、日本学術会議会員
坪井 栄孝 日本医師会会長、世界医師会会長
中川 博次 水資源開発審議会会長、京都大学名誉教授
西尾 武喜 国土交通省名古屋都市センター理事長、日本水道協会名誉会員
橋本 龍太郎 元内閣総理大臣
森脇 昭夫 地球環境戦略研究機関理事長、名古屋大学名誉教授
師岡 愛美 全日本自治団体労働組合(自治労)副中央執行委員長
和田 正江 主婦連合会会長

行政側窓口委員

外務省 総合外交政策局 国際社会協力部長
国土交通省 土地・水資源局 水資源部長
環境省 環境管理局 水環境部長

第3回世界水フォーラムの開催について

〔平成13年3月6日〕
閣議了解

世界水会議及び第3回世界水フォーラム運営委員会が、平成15年3月16日から23日にかけて京都市を中心として滋賀県、京都府及び大阪府の琵琶湖・淀川流域において開催する第3回世界水フォーラムに対し、関係行政機関は必要な協力を行うものとする。

また、政府は、同フォーラムの一環として、閣僚級国際会議を開催することとし、その開催に関し、関係行政機関は必要な協力を行うものとする。

平成13年6月15日
省内準備委員会事務局

第3回世界水フォーラム・キックオフミーティングの概要

1. 会議の趣旨

第3回世界水フォーラムの成功に向け、世界水会議（WWC）関係者や第2回世界水フォーラムにおける分科会座長等をはじめとし、国内外のNGO、水専門家等の参加を得て、第3回世界水フォーラムの枠組みについて意見交換を行うもの。

2. 開催月日、場所等

- 開催月日：平成13年6月3日（日）～5日（火）
- 開催場所：京都市（国立京都国際会館）
- 会議参加者：約460人（海外120人、国内340人、（政府関係者、学識経験者、民間、NGO等））

※農林水産省からは、農村振興局水利整備課長及び計画調整室長、林野庁水源地治山対策室長等が出席。

3. 議事内容

（1）全体会議（オープニング・セッション）

- ①オープニング・セッション
 - ・橋本龍太郎・運営委員会会長挨拶
 - ・ムハマド・アブザイド（世界水会議会長）基調講演
- ②ヴァーチャル・ウォーター・フォーラム・セッション
 - ・ヴァーチャル・ウォーター・フォーラム概要説明、体験、意見交換
- ③第3回世界水フォーラム及びヴァーチャル・ウォーター・フォーラムの枠組みについての説明及び意見交換

（2）分科会

第3回世界水フォーラムの今後の進め方等について小グループに分かれ、テーマ別に意見交換

（3）全体会議（クロージング・セッション）

分科会討議の結果を受けて、全体討議。第3回世界水フォーラム事務局に対する

提案をとりまとめ。

4. 結果

分科会、全体会議での討議を受け、今後、ウォーター・フォーラムで討議していく課題が取りまとめられた（別添参照）。提案された課題の中で、農業に直接関するものとしては、「食料供給の保障」、「水・食料保障とエコシステム」、「天水農業」等があげられている。また、「水の価値評価」や「生態系の保護」など農業と関連した重要な課題や現在国際機関で議論がなされている課題も含まれている。

これらの課題については、ヴァーチャル・ウォーター・フォーラムによる議論が既を開始されており、誰もが参加できるものとなっている。

キックオフミーティングにおいて提案されたテーマ

No.	Title	タイトル	Original Eng. or Jap.
1	Meeting Basic Needs	基本的ニーズの充足	Eng.
2	Securing the Food Supply	食糧供給の保障	Eng.
3	Protecting Ecosystems	生態系の保護	Eng.
4	Sharing Water Resources	水資源の共同利用	Eng.
5	Managing Risks	リスクの管理	Eng.
6	Valuing Water	水の価値評価	Eng.
7	Governing Water Wisely	賢明な水資源統治	Eng.
8	Dialogue on Water, Food Security, and Ecosystems	水・食糧保障とエコシステムについての議論	Eng.
9	Climate Change and Water Management	気候変動と水管理	Eng.
10	Financing of Water	水に関するファイナンス	Eng.
11	Securing Knowledge Base	学識基盤の確保	Eng.
12	Water for Industry and Energy	産業・エネルギーのための水	
13	Urban Water	都市の水問題	Eng. & Jap.
14	Small Islands and Water Management	島嶼国の水管理	Eng.
15	Dialogue with NGOs and Stakeholders at WWF3	第3回世界水フォーラムにおけるNGOと 利害関係者との議論	Eng.
16	Interaction of the Ministerial Conference and Forum	閣僚会議とフォーラムとのインタラクション	Eng.
17	Water Fair/Festivals	水フェア・フェスティバル	Jap.
18	Water Voices/Virtual Water Forum	水の声・ヴァーチャルフォーラム	Eng.
19	Youth: bringing a fresh perspective raising awareness	ユース：若い世代の意識向上	Eng.
20	Water quality	水質	Jap.
21	Public Private Partnership (PPP) in water	官民パートナーシップ	Jap.
22	River basin management	流域管理	Eng.
23	Search for water in all universe: Myths and legends on water	水の神話・伝説	Eng.
24	Capacity building government with institutional arrangements for integrated water resources management	政府レベルの能力向上 —統合水資源管理のための制度改善	
25	Water and Gender	水とジェンダー	Eng.
26	Rain Water Harvesting (RWH)	天水農業	Eng.
27	External Communications and Publicity: "WA" strategy related to theme 23 (Water universe)	"和" (外部との情報交換と広報)	Eng.

注：No.12 及び No.24 については議論されなかった。

平成12年11月17日

平成13年 6月15日改正

第3回世界水フォーラム省内準備委員会の設置について

1. 趣 旨

「第3回世界水フォーラム」が2003年3月に日本で開催されることが予定されており、平成12年6月に「第3回世界水フォーラム関係省庁準備会議」（以下「省庁準備会議」という。）が、また、7月にはNGOとしての「第3回世界水フォーラム準備事務局」（以下「準備事務局」という。）が発足し、準備作業が進められている。

世界水フォーラムは、21世紀における持続的・効率的な水資源の利用を目指して、NGO組織である「世界水会議」が主催するものであるが、そこでの議論においては、「食料と農村開発のための水」及び「農業用水」も主要なテーマの一つとなっている。

したがって、農林水産省としても、省庁準備会議及び準備事務局等と密接な連携を図りながら、農業分野に係る準備について積極的な対応を図る必要があることから、省内の関係者から構成される「第3回世界水フォーラム省内準備委員会」（以下「準備委員会」という。）を設置することとする。

2. 任 務

- (1) 農業分野のテーマ設定及びその内容の検討
- (2) ICID等関係国際機関の動きへの対応方針の検討
- (3) 農業分野に係る準備を進めるための準備事務局等関係組織への働きかけ
- (4) その他必要な対応

3. 構成員

別紙のとおり。

4. 幹事会

- (1) 準備委員会の任務を遂行するため、各種の検討、対応の具体化・実施等を行う幹事会を設置する。
- (2) 幹事会の構成員は、別紙のとおりとするが、必要に応じてその範囲を広げることとする。

5. 事務局

準備委員会の庶務は、農村振興局土地改良企画課計画調整室、同事業計画課及び同設計課海外土地改良技術室の協力を得て、農村振興局水利整備課が行う。

第3回世界水フォーラム省内準備委員会

平成13年7月6日現在

委員会		幹事会			担当	
区分	役職	氏名	氏名	役職	氏名(内線)	
委員長	農村振興局長	木下 寛之				
副委員長	農村振興局次長	太田 信介				
委員	大臣官房企画評価課長	武本 俊彦	竹原 敏郎	室長補佐	吉永 (2095)	
			西郷 正道	課長補佐	斉藤 (泰) (2106)	
	総合食料局審議官	北原 悦男	岡島 敦子	企画官	西村 (3052)	
"	総合食料局国際部長	村上 秀徳	新木 雅之	課長補佐	廣田 (3251)	
			笹谷 秀光	"	中野 (3277)	
			伊地知 俊一	"	小藺 (3326)	
"	農村振興局計画部長	日尾野興一	宮元 均	"	中田 (4712)	
			川合 勝	"	跡部 (4743)	
			齋藤 晴美	"	田中 (4775)	
"	農村振興局整備部長	中島 克己	中條 康朗		—	
			御前 孝仁	"	小林 (4842)	
			田口 高士	調整官 専門官	石川 (4871) 進藤 (4904)	
"	生産局審議官	坂野 雅敏	井上 龍子	課長補佐	宮坂 (3482)	
"	農林水産技術会議 研究総務官	永山 勝行	高本 正樹	"	横井 (5211)	
"	林野庁森林整備部長	石島 操	安藤 伸博	"	馬場 (6298)	

第3回世界水フォーラムの日程 (案)

2003年3月

国連水の日

16(sun)	17(mon)	18(tue)	19(wed)	20(thu)	21(fri)	22(sat)	23(sun)
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

フォーラム

高官級会合

本会合

水に関するフェア